

平成22年7月9日(金)

指導者 別所由紀

司書教諭 荒川知凡

場所 今市っ子図書館

1 単元名 心に残った本を紹介しよう

2 単元の目標

- ・伝える相手や目的を意識しながら本を読み、ブックトークすることを通し、多様な読み方や表現方法を身に付けることができる。(読むこと、話すこと・聞くこと)
- ・本を読んで、心ひかれたことを、自分の言葉で的確にまとめることができる。(読むこと、書くこと)
- ・感想、意見、考えを伝え合いながら、聞き手が「読んでみたい」と思うようなブックトークに仕上げるができる。(話すこと・聞くこと)

3 基盤

(1) 児童の実態

読書好きな児童が多く、朝読書や読み聞かせを楽しんでいる雰囲気があるが、6年生になって忙しいこともあってか図書館で本を借りる機会が少なくなっている。分からない語句があると進んで辞書で調べる姿も見られるが、そのような習慣の定着には個人差が感じられる。

6年に進級した当初から、朝終礼時にスピーチタイムを設けている。大勢の前で話すことが苦手な児童が数名いるため、経験が自信につながるように、テーマを早めに伝えたり、自分のことを語る以外にも本の紹介など、多様なテーマ設定をしたりして継続しているところである。

今市タイム(総合的な学習の時間)では、4月から「平和学習」を進めている。修学旅行で訪れる広島や平和記念資料館などの事前学習から、班ごとにテーマをもち、児童一人一人が平和についての思いを深めてきた。修学旅行についての事前学習から事後学習まで、各班が次のようなテーマをもち、活動を進めてきた。

5班: 原爆や核兵器などのおそろしさを知って、核兵器のない世界にしたい。

6班: 原爆で多くの命や建物が失われ、家族や友だちを失うことのおそろしさを知ってもらい、原爆のある世界に二度としたくない。

7班: 戦争のこわさや命の大切さ、平和の大切さを、自分たちがよく知って、多くの人に伝えたい。

8班: 戦争は、いっしゅんでたくさんの人たちに被害を与えてしまうから、その被害をうけた人たちの気持ちを世界中のみんなに伝えたい。

また、国語では「強く語りかけてきたことを考えながら読もう『ヒロシマのうた』」の学習を行った。視点をもって読み進め、単元の後半では、物語全体を通して最も重要だと考える文を1つ選び、どうしてその一文を重要だと考えたのかを、一人一人が理由を言いながら発表し合った。選んだ文や理由は一人一人異なったが、それを聞き合うことが児童一人一人の考えを深めることにもつながった。

「ヒロシマのうた」の学習の発展として、平和学習がより深まるように、教室前廊下に、平和や戦争に関する記事や本のコーナーを設置した。司書教諭と連携し、県立図書館や出雲中央図書館から関連図書約100冊を借りてきた。朝読書を中心に進んで読む姿が見られ、本の紹介カード作り

に多くの児童が意欲的に取り組むことができた。

(2) 教材について

ブックトークとは、あるひとつのテーマに沿って何冊かの本を選び、順序よく紹介することである。ブックトークは本の紹介の一手段であり、

①「テーマ」にそって本を紹介する。

②「つながぎのことば」によって紹介する本全体がつながっていく。

この2点が他の紹介方法と異なるところである。

テーマがあるため、児童はひとつの流れの中で筋道を追って聞くことができる。さらに、つながぎのことばによって本と本が響き合い、テーマが生き生きと立ち上がってくる中で、児童にわくわく感が生まれ、本の魅力が伝わり、図書館だよりや展示とは違った効果があると言える。

本単元では、児童がブックトークを行う立場になる。伝える相手や目的を意識しながら本を読み、ブックトークすることを通し、多様な読み方や表現方法を身に付けることができると考える。

(3) 身につけさせたい力

本単元では、平和学習と関連させることにより、自分たちの思いを伝えるための手段を増やし、その方法を身につけさせたい。具体的には、テーマに沿ってブックトークを行う活動を通して、聞き手が、紹介した本を読み、自分たちの思いを感じてくれるという喜びを経験させたい。聞き手に興味や関心をもってもらうためには、お薦めの本を紹介するだけではなく、話す内容や話し方を工夫したり、練習したりする必要がある。その際、司書教諭と連携し、実際にブックトークをしてももらったり、ブックトークの良さや方法を伝えてもらったりしながら、本選びや練習の際のアドバイスをし、児童の意欲や実践力を高めていきたい。このような単元を組み、児童一人一人がテーマや見通しをもってブックトークを行うことで、相手を意識し伝えるための表現方法を身につけさせたいと考えている。

4 この単元での言語活動や図書館活用について

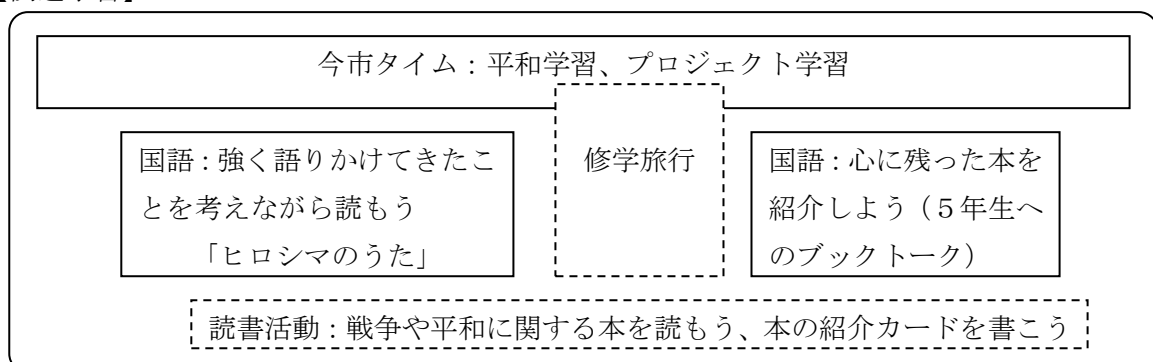
【言語活動】

- ・本を提示しながらブックトークをしたり、それらを聞いて助言をしたりすること。
- ・戦争や平和に関する本を読み、本のよさを5年生に伝えるための文章を書くこと。
- ・自分の課題を解決するために、ブックトークを利用すること。

【図書館活用】

- ・戦争や平和に関する本を読む。
- ・ブックトークに関する学習をする。
- ・司書教諭との連携

【関連学習】



5 単元計画

時	学習活動	◆評価規準 ◇支援	研究主題に迫る手立て
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを確認する。㊸ ㊸ ・ブックトークを聞く。㊸ ㊸ ・ブックトークの仕方を理解する。㊸ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ブックトークに関心を持ち、ブックトークをしようという意欲をもつことができる。 (関心・意欲・態度)【観察】 ◇ブックトークの仕方を示し、見通しがもてるようにする。㊸ 	<ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭によるブックトークを聞いたり、「ブックトークの手引き」の紹介を聞いたりして、学習活動への見通しをもつ。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・班でブックトークの流れについて話し合い分担を決める。㊸ ㊸ 1班4～5名 1人1冊担当する 平和学習と同じテーマで 対象5年生 1班持ち時間8分間 ・ブックトークで紹介したい本を探す。㊸ ㊸ 読んでもらいたい本 伝えたいことが伝わる本 ・決まったことを班ごとに「ブックトークの構成表」に書き込む。㊸ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆目的をもって本を探すことができる。 (読む)【観察】 ◇平和学習に関する本のコーナーを充実させておく。㊸㊸ ◇「ブックトークの構成表」を用意する。㊸ 	<ul style="list-style-type: none"> ・平和学習や読書経験を生かして、目的に合った本を探す。
課外	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ本を読む ・班のブックリストをつくる。 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の紹介する本についての「ブックトーク準備カード」を書く。㊸ ㊸ ・紹介の仕方を考え「ブックトーク挑戦カード」に書き込む。 ・決まったことを班の「ブックトーク構成表」に書き加える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆本についての分析やブックトークで伝えたいことを、的確にまとめることができる。 (書く)【ワークシート】 ◇一番伝えたいこと・紹介したい言葉などをはっきりさせるように助言する。㊸㊸ ◇感想の言葉カードを利用するように伝える。㊸ ◇つなぎの言葉が書きにくい児童にアドバイスをする。㊸ 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争や平和に関する本を読み、本のよさを5年生に伝えるための文章を書くこと。
4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックトークの練習をする。㊸ ㊸ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ブックトークを成功させるためのポイントを確認する。㊸ ◇モデルとして1班のブックトークを取り上げ、感想を伝え合う場を設定する。㊸ ◇班を回ってアドバイスをする㊸㊸ ◆〈話し手〉伝える相手や目的を意識しながらブックトークの練習ができる。(話す・聞く)【観察】 ◆〈聞き手〉テーマやつながりを意 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を提示しながらブックトークをしたり、それらを聞いて助言をしあったりすること。 ・司書教諭からブックトークのコツを聞いたり、アドバイスしてもらったりする。

		識しながら聞き、感想、意見、考えを伝えることができる。 (話す・聞く)【カード・観察】	
5 ㊤ ㊦	・ブックトークをする。 5年生に向けてブックトークをする	◆班で準備した内容・役割にそって、読み手の興味を引く工夫を盛り込みながらブックトークをしている。 (話す・聞く)【観察】	・伝える相手や目的を意識しながらブックトークする。

6 本時の指導 (4 / 5 時間)

(1) 本時のねらい

- ・伝える相手や目的を意識しながらブックトークをし、多様な読み方や表現方法について理解を深める。 (話すこと・聞くこと)
- ・感想、意見、考えを伝え合いながら、聞き手が「読んでみたい」と思うようなブックトークに仕上げる。 (話すこと・聞くこと)

(2) 本時の学習活動

学習活動	○支援 ◆評価
1 本時の学習のめあてを確認し、見通しをもつ。 (2分)	㊤ 学び方ノートと本の確認をする。 ㊦ 各班のテーマが分かるように掲示する。
班のテーマが伝わり、5年生がぜひ読んでみたいと思うようなブックトークをしよう。	
2 班で行うブックトークの確認をする。 (15分) ・班の構成表を確認する。 ・ブックトークのポイントを確認する。 ・モデルとして、1つの班が行い、みんなで感想を言い合う。	㊤ 班ごとに練習の見通しがもてるよう、構成表を確認させる。 ㊦ 前時までに伝えていたブックトークを成功させるためのポイントを、練習時の評価としても意識できるように伝える。 ㊧ ブックトークのモデルとして、また感想を伝え合う練習のために、一班的ブックトークをみんなで聞く場を設定する。 ㊨ ㊩ ポイントを意識した感想をとりあげる。 ㊪ ポイントを意識しながら聞ける評価カードを配布する。
3 班に分かれてブックトークの練習をする。 (25分) ・今市っ子図書館、物語の部屋、(第2会議室)を使う。 ・1グループずつブックトークを行い、評価カードに記入しながら、感想、意見、考えを伝え合う。 ・時間的に可能であれば、繰り返し練習する。	㊤ 練習場所や時間、進め方について確認し、スムーズに練習を始められるようにする。 ㊦ 班としてのまとまりを意識しながら練習できるように、同じテーマの班同士で聞き合う場を設定する。 ◆ (話し手) 伝える相手や目的を意識しながらブックトークの練習ができる。 (話す・聞く)【観察】 ◆ (聞き手) テーマやつながりを意識しながら聞き、感想、意見、考えを伝えることができる。 (話す・聞く)【カード・観察】 ㊧ ㊩ 班を回りながら様子を見て、ポイントを意識した感想を評価する。
4 学習のまとめをする。 (3分) ・自己評価カードを記入し、次のめあてをもつ。	㊤ めあてに沿った振り返りができるように、自己評価カードを用意する。 ㊦ ㊩ ブックトークの日時や場所を確認し、準備・練習をしておくよう助言する。

7 授業研究の視点

- ・モデルを見たり、アドバイスをし合ったりする活動を設定したことは、ブックトークに対する意欲や実践力を高めるのに有効であったか。